

Sapporo Gakuin University

札幌学院大学

# 大学院 臨床心理学研究科

2022年  
新さっぽろ  
移転決定!

「こころ」に寄り添う、エキスパートへ。

One life, Many answers



札幌学院大学  
SAPPORO GAKUIN UNIVERSITY



## 菊池 浩光教授

**私**の担当する「臨床心理実習」「臨床心理基礎実習」「臨床心理学特論I」では、事例検討やロールプレイなどを通じ、事例を多角的に理解していく学習に加えて、その実践的なカウンセリングのトレーニングを展開。理論と実践が偏ることなく、両輪が回転する講義に努めます。人々のこころの痛みに応えるには、それを深く受け止める感性と志が必要。専門家として幅広い知識と多彩な視点を持ってクライアントに関われるよう、普段から社会や世界で生じているさまざまな問題に関心を持ち、洞察を深めてほしいと思います。公認心理師も臨床心理士も社会的にはまだ認知度が広がっていない仕事。心理の業務が世の中にいかに貢献できるのか実績を出すことで道を切り開いていく、というパイオニアの気概を忘れずにいましょう。

## 佐野 友泰教授

**「心**理学特別演習」や「芸術療法特論」を主に担当します。いずれにも共通するのは体験型の講義であるということ。例えば、「芸術療法特論」は表現するという観点から心理療法の一技法とされる芸術療法について、臨床現場で使用するための知識と実践方法を身に付けるのが目的です。この分野は自らの経験や実感を通して学ぶことが特に大切なことから、体験学習も数多く盛り込んでいます。私は箱庭療法を中心とするアプローチから、心理療法の流れや実施時に必要なアセスメントを大まかに理解できるよう講義を展開するつもりです。こうした学びを通じて、常に知識を具体例として置き換えられるように成長し、精神的にもタフな職業人へと羽ばたいてほしいと考えています。



# 臨床心理学の高い専門性と、豊かなこころを育む教員陣。

臨床心理学を中心とする多彩な研究テーマと向き合う教員陣。さまざまなこころの問題を心理臨床の視点から取り上げ、大学院生とともに成長するような教育環境を整備しています。公認心理師や臨床心理士などの高度な専門性に加え、豊かなこころを育てている教員からのメッセージです。

## 大宮 秀淑教授

**初**回面接(インテーク面接)で重要となるカウンセラーとしての姿勢や態度、倫理的観点について実践的な学習を行う「臨床心理基礎実習」を担当します。実際の心理面接場面の中でも初回面接を重視しながら、カウンセラー役とクライアント(相談者)役に分かれ、ロールプレイを展開することで、現場に必要不可欠な臨床的感覚を養うのが目的です。クライアントとカウンセラー、そして両者の間には何が起きているのかについて、主観的・客観的視点から考えるための素地を作ってほしいと考えています。初めて心理面接に来談するクライアントがどのような思いや気持ちを抱えているのか十分に想像できる力を身に付け、真摯な姿勢で向き合う心構えを醸成することも大切です。



## 「スクールカウンセラーの現場から」 手代木 理子 特任教授

学校は集団を扱い、評価が伴う教育の場。こうした特有の文化が根付く中で、個に寄り添うことと、集団としての児童・生徒の発達を支援していくことの具体的な活動や方法を理解するのは簡単ではありません。また、児童・生徒、教職員、保護者、外部機関と多くの異なる立場の方と関わるためにスクールカウンセラーの専門性に必要なものとは何でしょうか。例えば、親しみやすさやバランス感覚、中立性、サービス精神…。それらを、自分自身の学びから想像し、見出し出してほしいと思っています。そして、心理の臨床家として成長することが、自分らしく生きていくことにつながるように成長し続けてほしいですね。



## 斉藤 美香教授

**私**の専門分野の一つは精神分析的アプローチによる心理支援です。精神分析は難解ですが、講義では事例を多用しながら、精神分析的な見立てに基づく心理療法などの支援を臨床現場で実践するために必要な最新の知見を学べるよう工夫しています。精神分析は「無意識」を想定した理論体系で、ネガティブなものとも向き合います。そのため精神分析的視点は、人が意識できる表層の言動のみならず、こころの奥(無意識)の力動を理解することで、対人関係や社会で起こることを解明します。ただし、人のこころはどんなに科学が発達したとしても、解明しきれない限界があり、その深淵さと個性に対する畏敬を忘れてはいけません。人間の多面性やネガティブさにある悲哀について学んだ土台があつてこそ、プロフェッショナルな専門性やスキルが活かされます。



## 小林 茂 准教授

**主**な担当講義の一つが、家族療法や集団療法を中心に学ぶ「家族関係・集団・地域に関する理論と実践」。タイトル通り、理論だけでなくとどまらず、視聴覚教材や各種ワークも取り入れるのが特徴です。もう一つが「福祉分野に関する理論と支援の展開」。精神を筆頭とする障害福祉や高齢者福祉について、制度とともに現代社会の問題から学びを深め、映像教材も活用することで各課題を身近に考えられるよう工夫します。家族・集団の扱いや地域実践では、個人面接とは異なる技法や考え方が必要。今後はアウトリーチや家族に代表される集団のシステムを俯瞰する視点が重要です。講義を通じて柔軟で幅広い知識を身に付け、臨床心理とその類縁学問まで多彩な興味関心を深めてほしいと考えています。



# 大学と、大学院での学び。

こころを科学的に学ぶための確実な方法。こころの健康を支援する専門家になるための道のり。いずれも一朝一夕に確立できるものではありません。本学では、認知行動療法や精神分析、アートセラピーなどの背景理論、身体や芸術、遊戯、言語といった多彩な角度からのアプローチ、それらを支える基礎学問を系統的に幅広く学べる科目を配置。さらに、実践力を身に付けられる多くの実習を用意することで、地域社会に貢献できる職業人を養います。

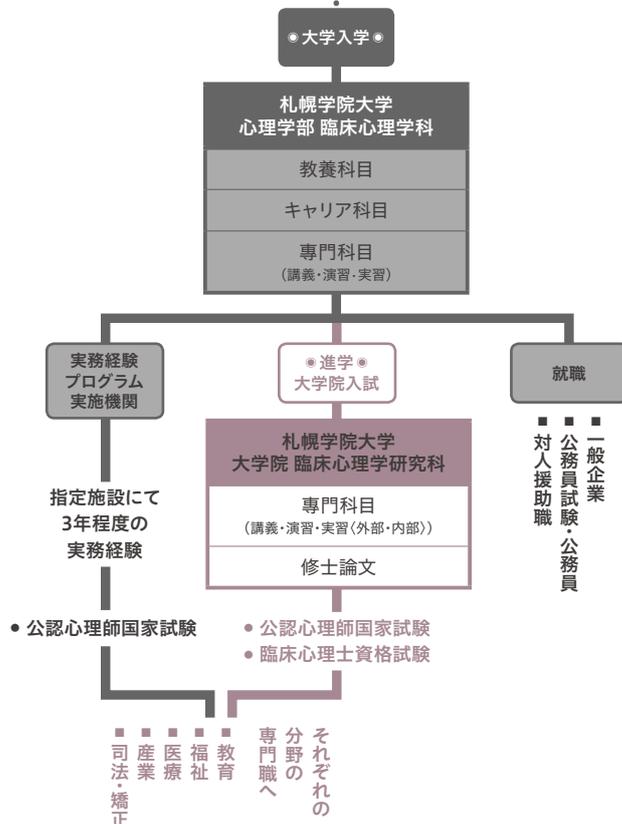
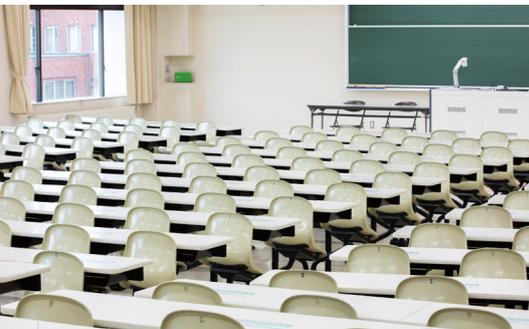
——さまざまな心理的援助のスキルを習得する——

	精神分析	認知行動療法	心理アセスメント	芸術・表現療法	発達・教育臨床
基礎	心理学的支援法	心理学的支援法	感情・人格心理学	心理学的支援法	発達心理学
専門	心理療法A (探索的心理療法)	学習・言語心理学	心理的アセスメント	応用実習A 遊戯療法	発達心理臨床A 教育・学校心理学A
実践	精神分析的 心理療法	心理療法B (認知行動療法)	心理アセスメント 実習	応用実習B 身体心理療法	教育・学校心理学B

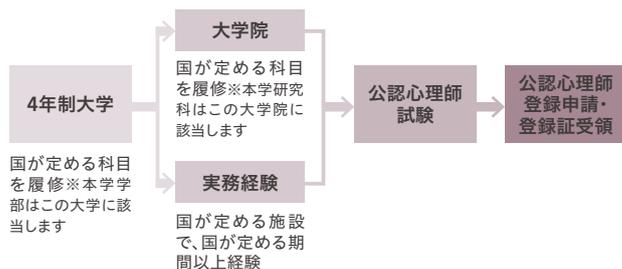
## こころの専門家の資格。

日本臨床心理士資格認定協会が認定する「臨床心理士」を筆頭に、民間団体による心理カウンセラー分野の資格はこれまでも数多くありました。2017年9月には公認心理師法が施行され、ついに日本唯一の心理専門職の国家資格「公認心理師」が誕生。本研究科では、この「公認心理師」と「臨床心理士」の受験資格として必要なカリキュラムをどちらも展開しています。

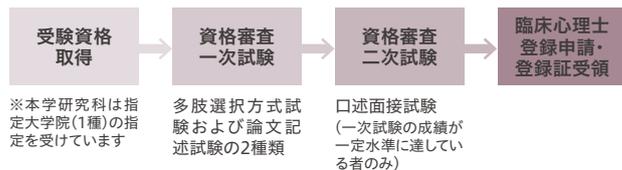
公認心理師と臨床心理士  
2つの受験資格カリキュラムを持っています。



国家資格「公認心理師」



民間資格「臨床心理士」(日本臨床心理士資格認定協会認定)



●主な受験資格  
 ●指定大学院(1種・2種)を修了し、所定の条件を充足している者  
 ●臨床心理士養成に関する専門職大学院を修了した者  
 ●諸外国で指定大学院と同等以上の教育歴があり、修了後の日本国内における心理臨床経験2年以上を有する者  
 ●医師免許取得者で、取得後、心理臨床経験2年以上を有する者  
 ※本学研究科は指定大学院(1種)の指定を受けています

本リーフレットの情報は2021年1月現在のものとなります。最新の情報はお問い合わせください

## 札幌学院大学

心理学部 臨床心理学科・大学院 臨床心理学研究科

〒069-8555 北海道江別市文京台11番地  
(JR札幌駅～約15分～大麻駅 南口徒歩約10分)

2022年4月より移転

〒004-8666 北海道札幌市厚別区厚別中央1条5丁目1番1号  
(地下鉄新さっぽろ駅1番出口徒歩1分)

教育支援課

TEL 011-386-8111(代表) FAX 011-386-8113(直通)  
http://www.sgu.ac.jp



札幌学院大学

SAPPORO GAKUIN UNIVERSITY